



海外に翔いた子ども達がその翼を
東北の未来へつなぐ夢のプレゼンテーション

第6回 Support Our Kids リユニオン

HABATAKI



実施報告書



2017年11月19日(日) 東北福祉大学 けやきホール

主催：Support Our Kids 実行委員会 共催：東北福祉大学

開催趣旨/HABATAKIとは

【開催趣旨】

本日は、第6回 Support Our Kids リユニオン HABATAKI 翔にご参加頂き、誠にありがとうございます。また、平素より弊会の活動に深いご理解とご厚情をいただいておりますことに感謝申し上げます。

皆様ご存知の通り、私共では、“東日本大震災被災児童の自立”“復興の担い手の育成”を目的に、10年間の継続プロジェクトとして「Support Our Kids」の活動に取り組んでおります。主たる活動は、世界の大使館や外務省のご理解とご協力のもと実施している「海外ホームステイを通じた被災児の自立心育成活動」、そして「ホームステイの実施、プロジェクトの認知度向上を目的に開催している各種チャリティ活動」です。

昨年のダン・カーター氏に続き、今年はラグビー界の名主将リッチー・マコウ氏が来日し、東日本を縦断しながらラグビー教室やトークショー、オークションパーティーなど10を超えるチャリティイベントに参加して下さいました。

本日は、多くの方々の温かいお気持ちに包まれ、この夏に海外ホームステイを経験された33名の皆さんに「海外で何を見て、何に気づいたのか」発表して頂きます。

また、OBOGの皆さんには、帰国後に取り組んでいる復興活動や、将来の夢についてお話し頂きます。

昨年に引き続き、OG有志によるスペシャルライブも予定しております。是非、最後までお楽しみいただけますと幸いです。

最後になりますが、このプロジェクトを一緒に立ち上げた Support Our Kids実行委員会 前事務局長の秋沢志篤が去る9月11日に永眠いたしました。故人の功績を称え、皆さんとともに故人に追悼の意を捧げたいと思います。

「東北から将来の復興を担う意思を育てたい！」という彼の遺志を引き継ぎ、これからも子ども達ひとりひとりの背中を見守りながら、「ひとりじゃないよ」を合言葉に2020年まで活動を続けて参ります。

逆境を力に変えて、自分の可能性に、そして世界に向かって羽ばたく機会を子ども達に。

引き続き、皆様のご理解とご協力、何卒、宜しくお願い致します。



2017年11月19日

Support Our Kids実行委員会 名誉会長 イアン・ケネディ
(元駐日ニュージーランド大使館 特命全権大使)

【HABATAKIとは】

“この会を、子ども達の・子ども達による・子ども達の為の会に育てていきたい”という思いから、会の名称を子ども達から募集。

「私たちは、支援のおかげで“はばたく”ことができた。今後は自分たちの力ではばたいて恩返しをしていきたい」という伊藤早希さん(NZ 2012)の想いが共感を集め、「リユニオン HABATAKI 翔」に決定しました。



【概要】

日時：2017年11月19日（日）12:30～16:00
会場：東北福祉大学 けやきホール
主催：Support Our Kids実行委員会
共催：東北福祉大学
参加：170名



【プログラム】

12:00 開場・受付

12:30 開会 / 司会 秋沢淳子 (TBSアナウンサー)

- ・主催者代表挨拶 アン・バリントン
(駐日アイルランド大使館 特命全権大使/Support Our Kids実行委員会 会長)
- ・開会宣言 三浦 七海
(リユニオン2017実行委員会 実行委員長)

13:00 第1部 KAGAYAKI 輝 ~夢の扉へ~ 海外ホームステイ体験

フランス/アイルランド/オーストラリア/ニュージーランド/カナダ参加生徒



14:30 第2部 HABATAKI 翔 ~夢の実現~

- ① 東北×熊本 復興の輪プロジェクトを実施して
HABATAKIプロジェクトメンバー 櫻井友香 (US2014)
- ② インタビューセッション「私の夢」
米山結衣 (US2013)、小金澤彩 (US2012)、及川徳乃 (US2016)
- ③ HABATAKI LIVE
小野寺悠花 (NZ2014)、佐藤玲花 (CAN2014)
須田日香理 (NZ2015)、熊谷海音 (CAN2017)



15:35 第3部スペシャルライブ
増田太郎 (ヴァイオリニスト)

15:50 クロージング

- 閉会宣言 秀岳 卓哉
(リユニオン2017実行委員会 副委員長)



16:00 懇親会 (風土)

18:00 閉会

※敬称略

KAGAYAKI 輝 ～夢の扉へ～ 海外経験発表



2017年夏の海外ホームステイプログラム参加生徒によるプレゼンテーション。
海外という地で沢山の気付きと学びを得た子ども達は33人33色の経験をしました。
復興の担い手としての成長、仲間との熱い絆が感じられる発表でした。



グループ全員で「日本とフランスの架け橋になりたい」という思いから、フランス語で「架け橋」という意味の「Pont(ボン)」を入れた『ボンでリング』のテーマの下、一人一人がリーダーの自覚を持ちながら参加しました。

最初のプレゼンでの失敗を経て、相手の立場になって考えながら、改善を行いました。反省点の改善により、その後のプレゼンは成功しました。最後に「周りの人にも伝えるね」と言われた時、自分達の目的である、『フランスに来て思いを伝える』ことができ、達成感を得ることが出来ました。

ここでの経験から人に任せず、自分でアクションを起こすことの大切さ、自立することを学びました。これからもそれぞれの夢へ向けて、挑戦を続けていきたいです。



私達のチーム名は『Discovering a new hero in me』です。このチーム名にもあるように、自分達の中にある新しいヒーローを発見するため、プログラムを通してヒーローであるためには何が必要なのか、アイルランドで出会う多くのヒーローから学ぼうと決めました。

プログラム中は無条件の優しさに触れ、他人に何かしてもらったから優しさを返すのではなく、常に優しさと思いやりを持つことが大切だと学びました。また、人前で発表する機会が多く、自分の自信にも繋がりました。

母国を越えて世界で活躍されている方を見て、自分も日本、世界に貢献できる人になりたいと感じました。この経験をただの思い出とせず、SOKの活動に多く参加していきたいと思います。Thanks a million !



研修後もここで得た仲間との強い絆を築きたいと考えた私達は『結』というチーム目標を決めました。この言葉にあるように、メンバーの個性を尊重し、リーダーシッププログラムでは協調性を持ちながら仲間と協力し、難題を解決していきました。そこで改めてリーダーになる上で協力することの大切さを感じました。

プレゼンを通して自分の言葉で思いを伝えることや、異文化理解の大切さを学び、最初は英語が少ししか話せなかったけれど、いつの間にか、間違いを恐れず相手と話したい、と思うようになっていました。

ここでの経験は一生の宝です。多くのご支援に感謝すると同時に、私たちが次世代のリーダーとして活動していきます。

KAGAYAKI 輝 ～夢の扉へ～ 海外経験発表



ホームステイプログラムに参加する前の私達は緊張と不安でいっぱいでした。そのため、最初は会話が成り立たなかったのですが、ニュージーランドの方々の優しさやサポートを受け、「自分の伝えたい気持ちをどうにかして伝えよう!」と、努力しました。同じく地震で被災した、クライストチャーチではリッチー・マコウ氏(元ALL BLACKS)に会い、震災についての思いを共有しました。

このプログラムで様々な国籍の方々や文化に触れ、2週間を終えた時、参加前の期待が責任感に、不安が自信へ変わっていました。そして、それぞれが自分の課題を見つけ、達成しようと試行錯誤することが、夢に近づく原動力になっています。

今度は支援を受ける側から送る側になり、恩返しをしながら社会貢献をしていきたいです。



カナダでキャンプに参加した際、英語でのコミュニケーションは難しかったけれど、みんな温かく迎えてくれました。そこでは、違った人種であっても尊重し、相手を受け入れる心を学びました。

また、ホームステイ中に相談に乗ってもらった時に、改めて家族っていいな、温かいな、と感じました。『金太郎飴がどこを切っても同じなように、どんな時もどんなところもあなたの良いところだから。』と言ってもらえ、前よりも自分に自信を持つことが出来ました。今後は模範的な何かではなく、自分の考えを持って生活をしたいです。

このキャンプを通して、何事も少しの勇気があれば出来ること、何を伝えたいか強い意思があれば伝わることが分かりました。この宝物の経験を将来に活かしていきたいです。

◆支援者の皆様からのビデオ・レターメッセージ



レーシングドライバー
寺田陽次郎 ご夫妻



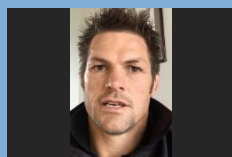
EMERALD
ダイアナ 様 デビッド 様



カナダ大使館
クリスティン・カラハン 様



歌手
平原綾香 様



元ALL BLACKS
リッチー・マコウ 様



前駐日アイルランド大使
ジョン・ニアリー ご夫妻



駐日ニュージーランド大使
スティブーン・ペイトン 様



元駐日ニュージーランド大使
イアン・ケネディ 様



前ボストンレッドソックス監督
ボビー・バレンタイン 様



豪日交流基金 理事長
マレー・マクレーン 様

OBOGによる活動発表。今度は自分達が復興のバトンを繋ぐ番として、仲間と共に立ち上がった彼らはホームステイ参加後も成長続けています。夢を追い、東北から日本、世界へ、と“はばたく”彼らが伝える後輩への想いとは。

◆「東北×熊本 復興の輪」プロジェクトを実施して

昨年度のプロジェクトに続いて、今年も「頂いた恩を誰かに返したい」という思いで、8月3日から9日まで宮城県の女川町でプロジェクトを実施。熊本から地震で被災した学生6名を招待し、復興に若者がこれからどう関わっていくか一緒に考え、語り合いました。笑い、涙した7日間を通して「東北と熊本に物理的な距離はあるけど、私たちの心の繋がりに距離なんて無い！」と実感しました。



「やってみたい！」ができる HABATAKI に

- HABATAKI プロジェクトメンバー 櫻井友香 (US2014)

昨年と今年、同じく震災を経験した熊本の若者を東北に招待しました。この「東北×熊本 復興の輪」プロジェクトが発足した時はすごく大変なことでやれるのかどうかわからなかったけど、すごくワクワクしました。SOKに参加できたことへの恩を返したいという思いで、その一歩を踏み出し、このプロジェクトを通してやってみたいことをやるのがどれだけ楽しいのかを実感しました。だからこそSOK参加後の「やってみたい！」と一緒にできる HABATAKI でありたいと思います。今年増えた33名のSOK新しい仲間と共に HABATAKI として繋がり、色々なものをつくりたいです。

◆インタビューセッション 「私の夢」

ホームステイプログラムに参加をした生徒は自分の夢を見つけ、その実現に向け、「前に前に」、と挑戦し続ける毎日を送っています。SOKのOG佐藤美優さんの進行のもと、OBOGを代表して3名がプログラム参加後の心情の変化を踏まえながら、後輩へメッセージを送りました。



SOKに参加して得た、アメリカでの出会い、仲間との絆は掛け替えの無いものです。今年の8月は引率アシスタントとしてカナダに行きました。子ども達の姿が行く前と行った後では別人のようになっていて、それは私にとっても刺激的なものでした。多くの方からの思いというご支援を頂いた事に感謝の気持ちを忘れず、今後も恩を返し続けたいです。- 佐藤美優 (US2013)

SOKやHABATAKIの活動の中でできた『世界一周』という夢。その夢を追い続けたことで、沢山の出会いや自分への自信を得て、これから考えるきっかけを作ることができました。これを通して後輩に伝えたいことは挑戦心を持ち続けるということ。そして、“今”という時間を生きてること。一緒にこれからも冒険し続ける人生を歩みましょう！- 小金澤彩 (US2012)



SOKに参加をし、自分の言葉だけでなく、態度を通して海外の人に故郷東北、日本について伝えたいと思いました。『日本と世界の架け橋』になるために決めた大学卒業後の舞台はアメリカ ディズニーワールドの日本館で働くこと。今後も失敗をプラスに、それらを自分の糧にしながらチーム目標であった「脱 スモールワールド」を続けていきます。- 米山結衣 (US2013)

私の夢は『和菓子職人』になることです。SOKで初めて自分の夢について深く話し、志の高い仲間に出会えたことでこの夢がさらに大きくなりました。来年から京都の老舗和菓子屋での修行が始まりますが、ここで私の更なる野望を宣言します。海外に和菓子屋さんを作り、和菓子を通して東北を伝えること、WAGASHIを世界共通語にすることです！- 及川徳乃 (US2016)



HABATAKI LIVE/増田太郎ヴァイオリンミニライブ



音楽へ力強い思いを持ち、歌うことを心から愛するSOKのOG4名が結集。
第3部には盲目のヴァイオリニスト増田太郎氏が登場し、生演奏を行いました。
東北へのエールが込められた、彼らの音楽は観客に沢山の勇気と希望を与えました。

◆HABATAKI LIVE

◇自身でSOKオリジナルチャリティソングの作詞や作曲を行い、
音楽プロデューサーYANAGIMANさんと共に作り上げた2曲を披露した2人



小野寺悠花
(NZ2014)

「だから1歩前にもっと前に進もう 何かが変わるから
世界を越えていけ ほら 架け橋になれるよ 僕らは」



佐藤玲花
(CAN2014)

「君がいるから笑えるんだ 今の僕はここにいるんだ
ありがとう ありがとう あと何回言えば伝わるだろう」

◇ライブ後半には新メンバーの登場や観客全員で盛り上げて歌う「HABATAKE！」を熱唱
会場にいるお客さん全員と一体になり、共に音楽の時間を楽しみました



「お父さん お母さん
愛されたことはいつも
後から気付きます」

熊谷海音
(CAN2017)

震災で父と母を亡くし、両親から愛されていたことを
後から気付いて、この歌詞がすごく心に残った。



須田日香理
(NZ2015)

SOKメンバーで歌詞を付けた「HABATAKE！」
涙の後には笑顔！さあみんなで立って歌いましょう



◆増田太郎ヴァイオリンミニライブ



「SOKの子ども達に希望の音色を届けたい」、
と公演先の長野県軽井沢より演奏しに来てく
ださいました。20歳で視力を失うも「ヴァイオリ
ンを弾きながら歌う」独自のスタイルを展開。
盲目でありながらも多くの人に勇気を与える
姿、ヴァイオリンの透き通った音色、増田さん
の力強い歌声が子ども達の被災地復興へ向
けた大きなパワーとなりました。

保護者会/懇親会

リユニオン当日の午前中には保護者同士のネットワーク向上を目的とした第6回保護者会を東北福祉大学内の風土で開催し、親同士の親睦を深めました。また、リユニオン終了後は実行委員の企画のもと懇親会を開催しました。大好きな仲間との食事はより美味しく、久しぶりの再会に充実した時間を過ごしました。

◆保護者会の様子



◆懇親会の様子



実行委員会企画/展示

今年度リユニオンの実行委員は全14名。それぞれが意見を出し合いながら、来場者の方がより楽しめるリユニオン実現を目指し企画から運営を行いました。

◆前日準備

当日役割や流れを確認し、展示物準備に励みました。



◆当日展示

今年度ホームステイプログラム参加者より印象的な思い出に残っている1枚の写真を募集、掲示。またインスタグラムボードを作成し、写真スポットを設けました。同時にSOKの前事務局長、故 秋沢志篤の偲ぶ会パネル展示も併催しました。



◆実行委員会

三浦七海
秀岳卓哉
樋田樹太
泉澤文子
大和田芽花

白木乃衣
及川徳乃
白木乃安
齊藤克馬

鈴木勇翔
後藤凜
池端晴熙
佐伯真結香
小野寺悠花



SOKの支援者の皆様

子ども達の発表を聞きに、遠方から多くの支援者の方が足を運んで下さいました。また、リユニオンの開催にあたって多くのお菓子や飲み物を頂きました。



駐日アイルランド大使
アン・パリントン 様

「日本語・英語・フランス語を使用したプレゼンテーションが印象的でした。素晴らしいプレゼンありがとうございました。」



マツダ(株)
グローバル販売&マーケティング本部
ブランド戦略部 主幹
松崎 庸輔 様

「皆さんひとまわりもふたまわりも大きくなり、立派でした。ぜひここでの縁を大切にしてください。」



(株)伊藤園
T2020推進部 副部長
植竹 寛 様

「顔つきや態度が行く前と格段が変わっていて改めて感動しました。異文化交流を通してさらに活躍して欲しいです。」



(株)マイヤ
経営企画室室長 兼 社長秘書
佐々木 英樹 様

「文化の触れ合いを通して新しい自分の発見や可能性に気付いたことを自信にして夢に向かって挑戦して欲しいです。」



マルトグループホールディングス(株)
取締役 管理本部 副本部長
石山 伯夫 様

「自分の思いを自分の言葉で話すOGの発表に驚かされ、心打たれました。後輩の皆さんも夢を持ち進んで欲しいです。」



タリーズコーヒージャパン(株)
専務取締役
丸橋 昌 様

「頂いた無限大の優しさを周囲の人に与える人になってほしいと思います。その上で自分の生き方を見つけ、貫いてってください。」



TBSテレビ
CSR推進部 担当部長
鈴木 真子 様

「1人1人自分の言葉を持って発表していて私たち大人が考えさせられる日になりました。ありがとうございました。」

支援者の方々から発表に対するお褒めの言葉、自分達の夢に向かう上での激励の言葉、たくさんの温かい講評を頂きました。頂いたお言葉は生徒の心に響き、これからの活動のエネルギーとなりました。今後ともご支援・ご協力お願い致します。

◆支援者の皆様から頂いたお菓子、飲み物



伊藤園



ブルボン



三菱食品



TULLY'S COFFEE

美味しく頂きました。ありがとうございました。

アンケートより

◆印象に残ったホームステイ報告のプレゼンテーション

それぞれのチームがそれぞれのカラーを表現しており、気持ちが伝わってきました。自分の中のヒーローを見つけ出し、引き出すこと。一人ひとりの中に可能性は必ずあるので、みんな引き出せている様子が見られて良かったです。

日本では「普通」という基準があってもなかなか自分を出せない。カナダに行って自分をしっかり持つことの大事さを学んだ、という言葉が響きました。今の日本に必要なことだと思いました。

◆東北×熊本復興の輪プロジェクトについて

自分が受けた思いを、感謝の気持ちで行動へ移すことができおり、絆をいつまでも続けているので、やはりホームステイの経験は実りが大きいと感じました。

「人の為に何かを」と思う人は多くいるかもしれませんが、それを「行動にうつすことができる」人は少ないと思います。行動に移せた人のみが学べるものがきっとあると思いました。

◆「私の夢」について

司会の方も言っていました。本当にキラキラと輝いていました。夢を持ち続けていることでこんなにも人生が輝くのだと思いました。

3人ともとてもはきはきはっきりと話をしてくれてびっくりです。SOKと出会ったからなせる業でしょうか。沢山の人の心にもっともっと聞いてもらえるといいですね。

◆HABATAKI LIVEについて

それぞれの心のこもった歌、演奏に心を打たれた。歌詞も良く、実感できるもので歌いたくなった。

すごく上手でびっくりしました。ご両親を亡くされた2017年の熊谷さんには頑張ってほしいです!!
ほかの3人の方も益々活躍下さい。
増田太郎さんのスペシャルライブもとても心を打つ素晴らしいステージでした。

◆震災から6年目を迎えて、今の心境・お考え

震災から6年がたち、だんだんと震災が忘れられてきていると思います。ただ被災地では建物はできてきていて、心と心のつながり、青年たちどうしのつながりは、これからが大切です。そこでリーダーになる人を育てていくことは大切だと思いました。

日頃の日常は戻りつつあるように感じられますが、本当の意味での心の復興は追いついていないようにも思います。当時のつらさ、悲しさは、物質的に復興に向かえばこそ、外に表現できなくなります。心の回復がよりできるようになればと祈ります。

◆SOKの活動に対するご意見、期待すること/子ども達へメッセージ

この経験は、参加者のみに影響を与えるのではなく、思いや行動が世界へつながっていくものだと思います。ぜひ続けて頂きたい活動です。

このSOKをきっかけにして、自分をさらに成長させ、東北のリーダーとして頑張って下さい。被災は多くの悲しみをもたらしたと思いますが、それでも前を向いて前に向かって進んでいく姿に感動しました。

「Support Our Kids」発起人会

青島 俊徳 (タイムアウト in NZ 創設者)
 森井 勝 (花人)
 森本 弘高
 秋元 康 (作曲家)
 淺野 秀則 (株式会社フォーシーズンズ 代表取締役社長 兼 CEO)
 天井 次夫 (株式会社経営戦略合同事務所 代表取締役社長)
 有森 裕子 (NPO法人「ハートフォワード」代表理事)
 アルン・バン・フ (フィンランド大使館 特命全權大使)
 アン・バルト (駐日イギリス大使館 特命全權大使)
 アイアン・ケネディー (元駐日ニュージーランド大使館 特命全權大使・ニュージーランド政府 日本国関係特使)
 石田 純哉 (株式会社ゴルフパートナー 代表取締役社長)
 井田 義明 (VVS自動車株式会社 特別相談役)
 伊藤 信彦 (ANAエア・アジア・エアウェイ株式会社 取締役社長)
 井上 彪 (三菱食品株式会社 代表取締役社長)
 井上 弘 (株式会社東京放送ホールディングス 代表取締役社長)
 岩崎 安利 (ビックホリデー株式会社 代表取締役社長)
 宇佐美 三郎 (株式会社宇佐美製油 代表取締役社長)
 氏家 正道 (フーズ・エクスプレス 北太平洋地区担当部長)
 ウルズブルーム (前・駐日スイス大使館 特命全權大使)
 エド・オーバー (前・ニュージーランド航空 日本・韓国地区 支社長)
 大崎 洋 (日本興業株式会社 代表取締役社長)
 大里 洋吉 (株式会社ミュージクス 代表取締役社長)
 大日向 由幸 (株式会社エスエスエス 代表取締役)
 岡田 佑 (宝自動車交通 代表取締役社長)
 垣添 直也 (元・日本水産株式会社 代表取締役社長 執行役員)
 加藤 功時 (国際ロータリー 第2750地区 東京芝ラオ・クラウンクラブ 2013-2014年度 会長)
 鎌田 隆介 (株式会社フューアール・ゴルフ 代表取締役社長)
 河相 夫 (宮付付付 代表役員)
 河田 聡史 (SBIファーマ株式会社 代表取締役 執行役員COO)
 河内 宏之 (株式会社アカデミー 代表取締役社長)
 河村 守康 (株式会社虎ノ門実業会館 代表取締役)
 北政 裕幸 (株式会社キューブ 代表取締役社長)
 金城 誠 (インクスター 株式会社 代表取締役社長)
 島岡 吉夫 (前・高萩市 市長)
 クリスチャン・マセ (前・駐日フランス大使館 特命全權大使)
 末原 宏二 (アゼリアグループ 理事長)
 小園 文典 (株式会社協和エンソオ 代表取締役社長)
 肥玉 守弘 (株式会社日音 相談役)
 後藤 亘 (東京外科学アカデミー株式会社 代表取締役社長)
 小林 哲也 (近畿日本鉄道株式会社 取締役社長)
 小巻 亜英 (NPO法人ハロー・チーム 実行委員会 代表理事)
 小高山 真 (野球評論家)
 サータ・ピット・ウォーレン (前・英国大使館 特命全權大使)
 齋藤 真剛 (ニューヨーク 医師、腫瘍内科 感染症専門医)
 三枝 成彰 (一般社団法人3.11震災復興文化・スポーツ支援機構 会長)
 坂井 秀行 (DMG 日本 支社 パスプレジデント ビジネスアドバイザー)
 坂井 正光 (株式会社リョー 特別顧問)
 近本 淳一 (松竹株式会社 代表取締役社長)
 経塚 建次郎 (ラリードライバー)
 芝 幸太郎 (One & Presence Holdings 代表取締役社長)
 柴 俊夫 (一般社団法人 こどものための築基金 理事長、俳優)
 渋谷 弘徳 (公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 理事)
 藤田 亨 (実業株式会社 代表取締役社長 執行役員)
 ジャック・坂崎 (90 Plus Wine Club 代表)
 シャーン・ウォーカー (前・ニュージーランド政府観光局 PRエグゼクティブ)
 ショーン・コンロイ (前・ニュージーランド貿易経済促進庁 公使 日本・韓国地域局長)
 ジョーン・ヴォルズ (前・駐日米国大使館 特命全權大使)
 ジョナサン・ワイルド (前・駐日カナダ大使館 特命全權大使)
 ジョーン・カーワン (元・ラヴィー 日本代表ヘッドコーチ)
 ジョーン・アトリー (前・駐日イギリス大使館 特命全權大使)
 ジョンドエティ (タイムアウト NZ 設立者 テララウドズ リゾート マーケティング部長)
 白石 康史 (前・海軍軍医)
 白石 徳生 (株式会社ベネフィットワン 代表取締役社長)
 杉田 真志 (株式会社エスワイ・エス 代表取締役)
 関 正樹 (前・通商商事株式会社 代表取締役社長)
 高橋 利弘 (前・ニュージーランド大使)
 和田 博己 (株式会社ジェンテアビー 代表取締役社長)
 竹花 豊 (株式会社東京ビックサイト 代表取締役社長)
 鶴 ひろし (俳優)

田辺 善仁 (株式会社エフエム大阪 代表取締役社長)
 五井 義臣 (あじが有英会 会長)
 田村 隆 (元・空母三日月)
 長命 健志 (株式会社エイチ・エムシー 代表取締役)
 ツヨリ・コザチエフス (前・駐日ポランド共和国大使)
 塚原 光男 (有限会社塚原体操センター 代表)
 辻 信太郎 (株式会社サンリオ 代表取締役社長)
 坪田 龍毅 (クラフティスター)
 ティーン・サドラー (アド・ネットワークス株式会社 代表取締役 兼 最高経営責任者)
 ティム・ウィリアムズ (ワイン・イン・スタイル株式会社 取締役社長)
 デボラ・ヘンダー (前・クレア・キャピタル・インターナショナル 日本マネージング・パートナー)
 幸田 陽次郎 (レインゴグラフィック)
 島崎 光憲 (日本・オーストラリア委員会 代表取締役社長)
 ナオコ グラ ヴァレ (タラヴァレ・ヴィンヤード オーナー)
 船島 英幸 (三菱商事株式会社 常任監査役)
 ニーナ・坂崎 (JSMコンサルティング株式会社 代表取締役)
 新山 明夫 (前・駐日ニュージーランド協会 会長)
 西村 剛毅 (九州労働株式会社 代表取締役社長)
 西山 広文 (株式会社読売情報 代表取締役社長)
 野田 勝憲 (共立印刷株式会社 代表取締役社長)
 羽生 裕子 (カルカフィー オーナー)
 真生 善治 (特撰居士 二起)
 原 辰雄 (元・大塚 前監督)
 原田 真二 (ミュージシャン)
 林 持 (前・ベルギー王国大使)
 肥後 かおる (女子プロゴルファー)
 日野 晴正 (ジャズクラブ・ヘクトール)
 日野 和 (公益社団法人 学際国際交流センター 理事長)
 冨本 道臣 (株式会社エフエム東京 代表取締役社長)
 福田 康夫 (第91代内閣総理大臣 日本・ニュージーランド議員連盟理事長)
 ダニエル 藤井 (アラクストーン・グループ・ジャパン株式会社 代表取締役)
 ブルース・スティーブ (前・駐日オーストラリア大使館 特命全權大使)
 マイケル・ヘンリー (前・駐米シンガポール領事館 領事)
 吉田 貴之 (千葉工業大学 未来ロボ技術研究センター 所長)
 本庄 竜介 (グリーンコープ株式会社 代表取締役)
 マーク・ケナリー (前・フォンテラジャパン株式会社 代表取締役社長)
 マーク・シンクレア (前・駐日ニュージーランド大使館 特命全權大使)
 マイク・ラッキー (元・ニュージーランド代表 オールブラッズ)
 マイク・ラッキー (エポ・エリクソン・キャピタル・マネジメント 代表)
 前田 伸 (日本電産株式会社 代表取締役)
 松岡 安泰 (東宝東和株式会社 代表取締役社長)
 松沢 成文 (参議院議員)
 松本 庄一 (株式会社エフエム 代表取締役社長)
 松平 定知 (元NHKアナウンサー・京都府芸術大学 教授)
 真藤 健一 (株式会社経営戦略合同事務所 代表取締役社長)
 マルク・クリスティーズ (異文化コミュニケーション、国連・パレット親善大使)
 丸山 邦治 (株式会社丸山商店 代表取締役社長)
 ウォー・カウ・ロ (駐日サンマリノ共和国 特命全權大使)
 ミア・エヴァンズ
 (パン・コープ・ウェルスマネジメント・リミテッド ジェネラル・マネージャー)
 村上 雅則 (元・メジャーリーガー)
 森 浩英 (作曲家・作家、日本ソフトボール協会 最高顧問)
 森川 由加里 (ミュージシャン)
 森 浩生 (森ビル株式会社 取締役副社長 執行役員)
 森 喜博 (第85代、第86代内閣総理大臣 日本ラグビーフットボール協会会長)
 ケリス・森森 (ニューヨーク 日系人会 会長)
 歌中 三十二 (外務省顧問)
 山崎 直樹 (株式会社アプロトグループ 代表取締役社長)
 ユーゼン・チェン (ゼスパ) インターナショナル ジャパン株式会社 代表取締役社長)
 吉田 恒雄 (特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク 理事長)
 吉田 康 (株式会社バルボ 代表取締役社長)
 吉野 伊佐男 (日本興業株式会社 代表取締役社長)
 吉野 隆 (前・駐日オーストラリア大使館 特命全權大使)
 リック・リー・バート (前・駐日ベルギー王国大使館 特命全權大使)
 ルート・ファン (エンツェンジャーグループ マネージング・ディレクター)
 ロバート・ペレル (オーストラリア・ニュージーランド銀行 東京支店 CEO)
 脇屋 友樹 (Wakuya 笑美茶楼 オーナー/エフ)
 和田 修一 (株式会社和田 代表取締役)
 前立者: 故 秋沢志篤

※2017年11月 現在 (五十音順・敬称略)

協力・後援団体

アイルランド大使館
 アリカ大使館
 イギリス大使館
 オーストラリア大使館
 カナダ大使館
 サンマリノ共和国大使館
 スイス大使館
 ニュージーランド大使館
 フランス大使館
 ベルギー王国大使館
 ポランド共和国大使館
 キューバ大使館
 復興庁
 外務省
 防衛省
 首相官邸
 日本赤十字社
 経済同友会
 90 Plus Wine Club
 ISISGreenwich
 IMJ JAPAN
 アング株式会社
 RHトラペラー株式会社
 赤井勝彦花会
 株式会社アカデミー
 株式会社キューブ・ゴルフ
 あしなが育英会
 アシエグループ
 アイダズ・ジャパン
 ア・ネットワークス株式会社
 アム通実行委員会仙台支部
 株式会社ア・パースニップ・ホールディングス
 アフリカの花屋
 アリカクラブ
 アルバイン・ア・パースニップ株式会社
 ANZCO FOODS JAPAN LTD
 アダダ東京
 all
 イオン
 いしかわデザインセンター
 株式会社泉屋東京店
 いそ路
 Itsumo
 株式会社伊藤園
 伊藤ハム株式会社
 井原水産株式会社
 International Women's Club JAPAN

JANZ Ladies
 春風会
 新企会
 新穂真会
 スーザ・ロッドフェラー
 スイス・インターナショナル・エアラインズ
 スイス情報.com
 スポーツ・オーソリティ
 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
 閉野商事株式会社
 仙台ニューランド協会
 日本空輸株式会社
 医療法人社団慈真会
 DARGAVILL.HIGHSCHOOL
 株式会社オイク
 タカタ株式会社
 宝自動車交通株式会社
 株式会社竹中庭園緑化
 株式会社環境建築設計事務所
 学校法人千葉工業大学
 株式会社中央不動産鑑定所
 つきち田村
 株式会社手塚ロダクシオン
 TBS
 TBC東北放送
 テルタ航空
 株式会社サンポアモ
 フォンテラ株式会社
 TOKYO FM
 TOKYO MX
 東北福祉大学
 東京航空計器株式会社
 東京ガス株式会社
 東京ドーム
 株式会社東京ドームホテル
 株式会社東日本ビックサイト
 東京プリンホテル
 東至神堂
 トヨタ自動車株式会社
 株式会社虎ノ門実業会館
 有限会社リョー・ロード
 株式会社ナカムラ
 株式会社ニュー・オータニ
 ニュー山王ホテル
 ニュージーランド航空
 ニュージーランド政府観光局
 ニュージーランド貿易経済促進庁
 nz-nzjv.com
 ニューヨーク日系人会
 ニューヨークメロン銀行

株式会社メッセ・デザイン・センター
 モザンビーク共和国大使館
 鶴畑 森下
 森永製菓株式会社
 森ビル株式会社
 Yahoo! JAPAN
 吉沢寛法法律事務所
 日本興業株式会社
 読売巨人軍
 読売新聞社
 ライオン株式会社
 LINE
 株式会社フ・アラタ
 公益社団法人ラオ国際交流センター
 ・ロシエ
 Rotary Club of Toronto - Forest Hill
 Wakuyaグループ
 一般社団法人 WAZA JAPAN
 和田グループ
 ヒーローズエデュテイメント株式会社

その他多くの個人の皆様からご支援頂いております。

2017年8月 現在 (五十音順・敬称略)

ご支援・ご協力ありがとうございます

Support Our Kids 事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-12-6 ミツリ麹町ビル3階 (特定非営利活動法人 次代の創造工房内)
 TEL : 03-6272-6252 Email : sok@jidai.or.jp HP : http://support-our-kids.org/ Facebook : https://www.facebook.com/jidai.or.jp/

Support Our KidsはYahoo! JAPANのご協力のもと、「Yahoo! ネット募金」を実施しております。
 各種クレジットカードによる決済のほか、Tポイント(TSUTAYA)を寄付に変えることが出来ます。
 寄付されたTポイントは、1ポイント=1円として換算され、Support Our Kidsプロジェクトへ寄付されます。
 寄付という形で、子ども達の未来を、東北の未来と一緒に支えて頂きますようお願い申し上げます。

HP: https://donation.yahoo.co.jp/detail/5126001/



ネット募金